

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医療整備対策費

事業名 災害医療連携促進事業費補助金 (地域医療介護総合確保基金)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療整備課 医療整備係 電話番号：058-272-1111(内3238)

E-mail：c11229@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 500 千円 (前年度予算額： 500 千円)

<財源内訳>

| 区 分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|-----|-----|------------|------------|------------|------------|-----|-----|-----|------------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財 産 収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般 財 源 |
| 前年度 | 500 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 500 | 0 | 0 |
| 要求額 | 500 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 500 | 0 | 0 |
| 決定額 | 500 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 500 | 0 | 0 |

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・ 県内の災害医療関係機関 (災害拠点病院、保健所、消防、DMAT等) の連携機能の強化を図る。
- ・ 基幹災害拠点病院である岐阜大学医学部附属病院が実施する災害時の救助、トリアージ、処置、病院選定、搬送、情報伝達等の実際の現場を想定した訓練の他、搬送から受け入れまでのより高度な連携を図るための災害医療研修に対しての補助を行う。

(2) 事業内容

【補助対象機関】

基幹災害拠点病院

【補助対象及び補助率並びに補助限度額】

災害医療研修の実施のために必要な経費の 10 / 10

(3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県の災害医療体制を強化するため、基幹災害拠点病院である岐阜大学医学部附属病院が行う災害医療研修等へ補助を行うものであり、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|------|-----|------------------------|
| 補助金 | 500 | 災害医療研修の実施に必要な経費に対する助成。 |
| 合計 | 500 | |

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

災害時の医療救護活動において災害医療関係機関の連携は重要であり、今後も当該補助金を継続する。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

基幹災害拠点病院である岐阜大学医学部附属病院が行う研修、訓練等により県内の災害医療関係機関（災害拠点病院、保健所、消防、DMAT等）の災害時における連携機能の強化を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 (R) | R4年度 実績 | R5年度 目標 | R6年度 目標 | 終期目標 (R9) | 達成率 |
|------------------------------|--------------|------------|------------|------------|--------------|------|
| | | | | | | |
| ①災害医療関係者を対象とした災害医医療訓練、研修会開催数 | 1回 (H22) | 1回 | 1回 | 1回 | 1回 | 100% |

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

| | |
|-------|--|
| 令和2年度 | 救急・災害医療に係る講演会を、県内の災害拠点病院や消防本部の災害医療関係者に対し岐阜大学病院で実施したことにより、災害拠点病院、保健所、消防、DMAT等の災害医療に係る知識の習熟が図られた。 |
| | 指標① 目標：1回 実績：1回 達成率：100% |
| 令和3年度 | 救急・災害医療の机上演習（Emergo Train System）を、県内の災害拠点病院や消防本部の災害医療関係者に対し岐阜大学病院で実施したことにより、災害拠点病院、保健所、消防、DMAT等の連携強化が図られた。 |
| | 指標① 目標：1回 実績：1回 達成率：100% |
| 令和4年度 | 救急・災害医療の机上演習（Emergo Train System）を、県内の災害拠点病院や警察本部・消防本部の災害医療関係者に対し岐阜大学病院で実施したことにより、災害拠点病院、保健所、消防、DMAT等の連携強化が図られた。 |
| | 指標① 目標：1回 実績：1回 達成率：100% |

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

| | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない | |
| (評価) 3 | 岐阜県の災害医療体制を強化するために基幹災害拠点病院である岐阜大学医学部附属病院が行う災害医療研修等への補助事業であり、必要性は高いと言える。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない | |
| (評価) 2 | 大規模災害時における関係機関の連携にかかる研修は、H23年度より始まったが、東日本大震災を受けて把握された様々な課題があり今後も訓練、研修を重ねて連携機能や体制の強化を図っていく必要がある。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている | |
| (評価) 2 | 災害医療に関して中心的な役割を果たすべき基幹災害拠点病院である岐阜大学医学部附属病院が行う研修等への補助事業であり、効率性は図られている。 |

(今後の課題)

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 より効果的な研修、訓練等の内容を検討していく。 |
|--|

(次年度の方向性)

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 大規模災害時に関係機関が的確な連携を図るには、継続した訓練や研修が必要であるため。当事業を今後も継続していく。 |
|---|

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

| | |
|----------------------------|-------|
| 組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課 | |
| 組み合わせる理由 や期待する効果 など | 【〇〇課】 |